

土庄町虐待防止等ネットワーク協議会について

平成24年11月20日

基本方針は「虐待のない明るい町づくり」とし子ども、配偶者、高齢者、平成24年10月から新たに障害者を加え、町民全体の虐待防止に努めています

オリブリボンとは？

全国では児童虐待防止のオレンジリボンとして活動していますが、土庄町虐待防止等ネットワーク協議会では平成19年にオリブリボンをシンボルに活動を始めました。リボンの呼び名は平和を広く意味しています。

真ん中のオレンジが子どもを表し、子どもを基本に、パールが配偶者・シルバーが高齢者、障害者を表しています。このリボンの形が土庄町では特徴的な活動体制で、リボンの形は真ん中でクロスし重なり、子どもを基本に配偶者、高齢者・障害者の虐待防止のための活動が手を合わせて活動していくことを意味しています。

リボンの土庄町役場の関係課は、人権対策課、生涯学習課、教育総務課、福祉課、健康増進課の5つの課です。また香川県や、法務局、警察などの関係機関をとの連携をし、また地元の身近な関係団体—PTA、自治会、老人クラブ、婦人会、児童民生委員、人権擁護委員、医師会、病院、などと連携をしています。

虐待を未然に防ぐ、早期に発見する、早期に対応—相談する。

啓発活動としてオリブリボンキャンペーンをしています。

大商業祭でのキャンペーンは早5年目になり、11月3日47名の関係者とキャンペーンをしました。オリブリボン、リーフレット、PR用歯ブラシなどを配りながら、虐待のない明るい町づくりに向けての呼びかけをしました。

また、今年の夏休みには、土庄高校生に虐待防止の標語を募集し、11月広報とんしょうの9頁に最優秀賞、優秀賞者の発表をしています。

最優秀賞作品 同じです あなたの命と その命 2年 射濱 有輝

優秀賞作品 守ろうよ 未来を照らす その笑顔 1年 奥村 友貴

この最優秀標語は、啓発用の旗として、また優秀賞ともに人権フェフタPRやしおりに活用しています。

11月は児童防止月間です。

近所に気になる親子、支援の必要な方がいませんか。

もしかしたら、虐待かもと思ったためらわずにご連絡・ご相談ください。記載している窓口ならどこでもよく、ご連絡していただいた方のプライバシーを尊重しています。あなたの行動で、その家庭のお子さんや家族の方に援助の手が届くことになります。子供たちが安心して過ごせるように支援していくのがネットワークで、皆さんの周りではネットワークで手をつなぎ支援しています。